

## 令和2年度北海道シニアサッカー連盟 第3回常任理事会議事録

1. 日 時：令和3年2月20日（土）15:00～17:00
2. 場 所：札幌市生涯学習総合センター ちえりあ 2F サークル活動室4  
（札幌市西区宮の沢1条1丁目）
3. 出席状況（下線は Web 出席者）
  - (1) 出席者 20 名  
西川会長、松本・工藤・三浦副会長、佐藤英理事長、伊東・二川・小坂副理事長、  
小林・佐藤晃・松本真・水落・吉田・小田中・小笠原・眞木・亀山・飯田常任理事
  - (2) オブザーバー出席者  
小島会計監事、紺野理事
  - (3) 欠席者  
松本健常任理事
4. 会長挨拶（要旨）

コロナは終息していなく、オリンピックも開催されるか分からない状況だが、あと2ヶ月半でサッカーのシーズンに入るので準備進めていきたい。
5. 議題
  - (1) 報告事項
    - ① JFA-50 サッカー大会(12月19日～21日 静岡県藤枝市) …佐藤理事長  
【資料 P1～2 参照】

・北海道代表として、DoconJack50 と札幌 50CERI 鳥が出場したが、2 チームともに予選突破はできなかった。DoconJack50 は初戦で優勝した茨城県代表と対戦し、不運な失点で 0-1 の敗戦が致命的となったが、全国でも十分戦えることが確認できた。札幌 50CERI 鳥は、初戦を勝ち良いムードで初日を終えたが、前年度優勝チームや 51 歳代を揃えた若いチームなど、強豪ひしめくりーグのため、残り 2 戦は敗戦となった。次年度 6 月に宇都宮で開催される全国 50 大会には DoconJack50 が出場する。
    - ② シニア部会報告(R3年2月4日 Web ミーティング) …二川副理事長  
【資料 P3～23 参照】

- ・全国大会の O-60 と O-70 の開催は中止となり、スライドして来年度、秋田で開催することとなった。
- ・O-40 及び O-50 の普及枠は 3 枠となった。また、選抜チーム防止のための全国大会出場資格として、前年度地区予選に登録していない選手は出場できなくなったが、補強枠として 3 名認められることとなった。O-50 北海道予選は前年度実施するが、4 月以降の新規 50 登録者は 3 名の枠に関係なく出場できる。

③ 2020 年度 HKFA 臨時評議員会(R3 年 1 月 24 日) ……三浦副会長

【資料 P24～29 参照】

- ・過去、北海道サッカー協会の運営が行われきた中で、役員を選考方法・諸規程等の不整合・業務執行理事会の権限集中化などの問題が顕在化し、諸々の見直し・整理が必要であるとの議論が行われてきたところである。

この度、評議員会が持つ権限である「定款の改正」ほか重要な諸規程の改定を行った。これに続き今後「理事会」が決定権限を持つ諸規程等の大改正が更に行われる予定。

これにより、改めて整理されたルールに則り今後の公益財団法人運営が執行されていくことになる。

④ 各種大会報告 ……佐藤理事長

【資料なし】

- ・北海道シニアフットサルオープン大会(R3 年 3 月 6 日～7 日滝川市)は中止となった。

(2) 協議事項

① R3 年度事業計画(案) ……佐藤理事長

【資料 P30 参照】

- ・全道大会、全国大会の日程は決定した。
- ・参考として記入している道央リーグの 7 月 11 日の千歳会場が急遽使用不可となり、現在調整中。
- ・9 月全道 O-50 大会(苫小牧)は、苫小牧地区サッカー協会単独で運営できる見込み。同日開催の全道 O-60 大会(十勝)は審判等の要請を行いたいとのこと。
- ・夕張で同日開催の全道 O-40 と全道 O-70 について、空知サッカー協会と運営体制を協議し、シニア連盟で運営することも視野にいれている。
- ・O-60 リーグの日程も決定しており、新規で北海道 O-60 リーグを検討中である。
- ・7 月に夕張開催の全道 O-40 及び O-70 は、オリンピックと日程が重なるため、シニア連盟からの応援は調整が必要である。

② 主管大会の地区希望調査について ……二川副理事長

【資料 P31 参照】

- ・2021 年の開催地は決定しているが、2022 年はあくまでも希望で記入しているため、早急に調整し決定したい。

③ ユニフォーム規定の緩和 ……佐藤理事長

【資料 P32～39 参照】

- ・2020 年 11 月 24 日付けで、JFA から「ユニフォーム規定」改定について通達があり、現行のユニフォーム規程からユニフォームの運用に関する部分を削除し、ユニフォームの運用だけでなく、競技規則であるアンダーウェアやソックスの色についても、大会要項に明記することで運用緩和ができるようになりました。
- ・ユニフォーム規定からユニフォームの運用に関する部分を削除するため、今後は大会要項に主催者がユニフォームを含めた選手の用具の運用について規定しなければならなくなった。
- ・JFA から大会要項の作成例が 3 案(1.運用緩和を全体的に適用する場合(JFA 推奨)、2.運用緩和を一部適用する場合、3.運用緩和を行わない場合) 示されており、シニア連盟主催事業においては、全国大会につながる全道大会はこれまでどおり「3.運用緩和を行わない場合」、地区リーグは「2.運用緩和を一部適用する場合」、全道シニア 8 人制、8 ツアー、北海道シニアなどの親睦が目的の大会は「1.運用緩和を全体的に適用する場合(JFA 推奨)」をイメージしているが、各大会の目的や実情に応じて大会要項に明記する。
- ・ただし、「1.運用緩和を全体的に適用する場合(JFA 推奨)」においても、原則正・副 2 組のユニフォームを用意することを努力目標とすることが望ましい。

④ 70 部門の JFA 登録 ……二川副理事長

【資料 P40～44 参照】

- ・O-70 の JFA 登録は、4 チームを超えた時に実施することにしてしたが、2 年前から 4 チームに達し現在 6 チームとなっている。
- ・各チームにアンケート調査を実施した結果、どのチームも前向きに考えているが、「選手が地域に分散している」や「登録費用が高い」などの意見があったため、令和 3 年度は猶予期間とし、令和 4 年度から JFA 登録を進める案も浮上したが、この件については数年前から各チームには通知しており、猶予期間は十分に取っている。
- ・令和 3 年度に新規で立ち上げる札幌サッカークラブ 70 など、6 チームのうち半数は JFA 登録をすることで準備を進めている。

- ・室蘭地区は今日の常任理事会の結果を踏まえ o-70 チームの立ち上げを検討する。
- ・O-70 の JFA 登録について、ネックが登録料の負担と考えられるため、JFA 登録料、連盟登録料、大会費用などを段階的にシニア連盟で補助することや、ユニフォーム規定の緩和などを適用し、令和 3 年度から行うことしたい。
- ・JFA チーム登録料 49,000 円について、年金が主な収入源と想定される標準的な 70 部門の方々にとって、負担になることも考えられるため、JFA に対して減額を働きかける。

⑤ R3 年度 HKFA 予算要求 ……二川副理事長

【資料 P45～53 参照】

- ・各全道大会の運営経費については、主管地区協会の負担軽減のため以前よりシニア連盟より数万円の補助金を支出しているが、決算時において 10～15 万円持ち出している事例がある。これまで持ち出しが生じた場合、地区協会と連盟で折半してきたが、今後は地区協会に負荷をかけないように調整し、極力連盟からも補助する。

⑥ 全道大会の運営・経費の使用について ……伊東事務局長

【資料 P54～55 参照】

- ・全道大会の運営経費については、人件費が地区協会によって大きく違っている。
- ・運営役員の派遣や理学療法士の派遣は、基本的に連盟負担とし、地区経費で難しい場合は適宜連盟に相談して欲しい。
- ・全道大会はこれまでどおり理学療法士配置する方針とし、経費は連盟負担とする。

⑦ 2020 年度決算見込み及び 2021 年度予算案 ……伊東事務局長

【資料 P56～64 参照】

- ・2020 決算見込みは、コロナの影響により中止となった大会が多く、繰越金は前年度対比で約 54 万円増の 239 万円となる見込み。
- ・今年度連盟登録したチームには、コロナ還元金として、次年度連盟登録料から 5000 円割り引くこととする (25000 円→20000 円)。このことについては、本来理事会で決議すべきところであるが、時期的に間に合わないので常任理事会で減額金額の承認をすることとした。
- ・今年度のシニア登録は 107 チームあったため、次年度のコロナ還元金は合計 535,000 円となる。
- ・2021 年度予算案は、2020 年度とほぼ同額で大きな変更はない。

⑧ シニア連盟 20 周年記念事業(R3 年 4 月 10 日札幌パークホテル) ……工藤副会長

【資料 P65～67 参照】

- ・昨年延期となり令和3年4月10日を予定していた記念事業であるが、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、延期することとする。
- ・仮日程として11月13日で会場を確保する。

(3) その他

- ・20周年記念誌は、記念事業の開催と切り離して、2020年報を組み込み作成する。
- ・理事総会はR3年4月17日(土)とする。